

ネイチャーキャンプ

ふるる函館 わくわくキャンプ
レポート



こんにちは！本格的な夏もうそろそろ終わりでしょうか。8月24日からのネイチャーキャンプにご参加いただきましてありがとうございました。当日はいいお天気に恵まれてのキャンプスタートとなりました。1日目のテーマは「草木染め」！ふるるの周りに生えているヨモギとイタドリを収穫し、染液の原料にしました。ヨモギ班とイタドリ班は2班ずつ、タマネギ班と合わせて5チームがそれぞれお鍋で材料を煮込みました。



ヨモギもイタドリもふるるの周りにたくさん生えています。



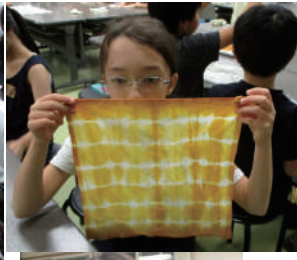
20分ほど煮込んでいる間に、染める布に「しぼり」を施します。模様になるようにビー玉や割り箸を挟んで輪ゴムでとめました。あとは煮た葉などを引き上げて染めの開始です！ちなみに染める布は木綿を使用しているため、染まりやすいように前日に豆乳汁にひたすという下準備を済ませています。



染め作業は、液につけて20分火にかけます。その間に色止め液(媒染)を用意しました。今回は焼きミョウバンとおはぐろ鉄の二種類。同じ鍋で染めた物を、2種類の媒染につけて発色の違いをみます。どんな風に変化するかを楽しみにして夕食をとった後、いよいよハンカチを広げました。媒染液からひきあげて「しぼり」をほどくと、色々な色と模様が浮かび上がっていました！ミョウバンは明るく、おはぐろ鉄は落ち着いた色に変化していて、しぼりもいい具合に模様になっていました。後は洗って干せば完成です。ヨモギやイタドリはタマネギに比べると淡い色合いだったので、染めた成果がわかりづらかったかもしれませんが、どれもとてもきれいな色で染まりましたね！是非大事に使ってけると嬉しいです。※はじめは色落ちするので、他の洗濯物と一緒に洗わないようにご注意ください。



→たまねぎ班



→ヨモギ、イタドリもとてもきれいな色が出ました。鉄媒染が渋くてとても素敵です



2日目は植物の種について学びました。まずは植物の種がどんな方法を使って生息領域を広げるかを見た後、風で飛ぶ種について学びました。

コピー用紙などの簡単な素材を使って、ラワンの種とアルソミトラの種 の再現に挑戦しました。



ラワンの種はとても簡単で、紙を切ってクリップでとめるだけでくるくると回りながら落ちる動きが再現されました。



アルソミトラの方はグライダーのように飛ぶ種で、こちらは試行錯誤が必要でした。本物は種がおもりになって飛びますが、コピー用紙にはシールとクリップでおもりの位置と重さを調整。その他に、羽根の角度などを調整して飛ばしてみました。本物を印刷したものを切り抜いて作った物とグライダーのような形の紙の両方を試していましたが、参加者の皆さんなかなかの飛距離を出していました。



種を再現するというだけでなく、どうしたらよく飛ぶかを試しながら色々なデザインになっていたのがとても面白かったです。

2日間のネイチャーキャンプは自然に触れる内容になっていたと思いますがいかがでしたでしょうか。

またのご参加をお待ちしております。

ありがとうございました！

